

## 第5章

### まとめ

## 第5章 まとめ

本報告書では、作業管理支援の汎用性を高めるため適用対象者を拡大し、実施方法や各種シートなどを改良した取組について取りまとめました。また、作業管理支援の実施にあたってよくある質問を「作業管理支援Q&A集」として取りまとめました。作業管理支援を実施する際、必要に応じて参照してください。

今回の改良では、「うまくいかなかったことの原因を特定するより、うまくいった理由を探り、それを実際の就労場面でも活かせるよう対処方法を検討すること」を重視しています。改良に着手した当初は、開発のベースとなっている実行機能について、支援者によって理解の度合いに差があることが作業管理支援を実施するハードルの1つとなっている可能性を考え、対象者の拡大にともない、「より複雑な問題の原因をどう実行機能レベルで把握するか」に注目していました。しかし、複数の専門家の助言も受け、生じている問題の背景は多様であり、問題の原因を探ることだけではなく、うまくいっている状況を分析し、その再現性を高めていくことで、より効果的な支援が実施できるのではないかと考えました。

作業管理支援では、対象者自身が作業管理課題での取組を振り返り、「こうすればできる」など、うまくいく条件について気づき、見出した対処方法を作業管理課題以外の場でも実践していけることを目指しています。今回開発した「作業スキル発見ノート」もこのための1つのツールです。「作業スキル発見ノート」の使用は必須ではありませんが、問題に目がいきがちで、「こうやったからうまくできた」という振り返りの経験が少ない対象者の場合には活用いただくとよいのではないかと考えます。

今回の改良では、作業管理支援の主軸となる作業管理課題の内容自体は変更しておりませんが、「第4章 作業管理支援の柔軟な実施方法」や「作業管理支援Q&A集」では作業管理課題を短縮して実施する際のポイントなどについて掲載しております。作業管理能力を把握し、必要な対処方法を実践するために、解決志向ブリーフセラピーなどの視点を取り入れることによって、ほかの支援を実施する場合にも参考になるよう本報告書を作成しました。

本報告書が地域センター等、各支援機関における就労支援の参考となり、支援の質の向上に役立つことを期待しています。